

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり作成日: 平成 30 年 11 月 27 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	有識者や知見者の参加委員を増やし、会議の内容を地域の高齢者へのアプローチに繋げ、ホームが認知症介護の拠点となれるよう取り組んでいく。	多くの参加委員が、運営推進会議に参加する事で、認知症やグループホームについての知識や情報を得て、地域に波及することで、認知症カフェや行方不明者搜索模擬訓練の実現を目指していく。	12ヶ月
2	13	職員を育てる取り組み	ベテラン職員と新人職員の介護技術に差があるので、内部、外部の研修を通じて、介護の知識や技術の向上に取り組み、職員の意欲や意識の高揚を目指していく。	法人研修、内部、外部研修の受講の機会を増やし、伝達研修を行う事で、知識の共有を図り、全体のスキルアップと職員間のチームワークに繋げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。